

# 目次

## CONTENTS

ご挨拶	(2)
大会概要	(3)
後援	(4)
参加者へのご案内	(6)
座長・公募シンポジウム企画者・発表者へのご案内	(10)
会場案内図	(12)
会場へのアクセス	(15)

## プログラム

タイムスケジュール	(16)
特別講演	(20)
海外招聘プログラム	(21)
特別企画プログラム	(21)
大会長企画	(22)
大会特別企画	(24)
大会企画シンポジウム	(25)
学会企画シンポジウム	(28)
日本財団スポンサードセッション	(29)
学会企画 倫理・COI 委員会セミナー	(29)
教育講演	(29)
大会企画講演	(29)
Basic Lecture	(30)
事例検討	(30)
公募シンポジウム	(32)
一般演題 口頭発表	(36)
一般演題 ポスター発表	(42)
事業報告	(46)
パネル展示	(46)

## 抄録

特別講演	4
海外招聘プログラム	6
特別企画プログラム	8
大会長企画	14
大会特別企画	16
大会企画シンポジウム	18
学会企画シンポジウム	34
日本財団スポンサードセッション	36
学会企画 倫理・COI 委員会セミナー	37
教育講演	38
大会企画講演	39
Basic Lecture	40
事例検討	41
公募シンポジウム	43
一般演題 口頭発表	145
一般演題 ポスター発表	175
事業報告	197
パネル展示	199
広告一覧	221
広告	222
出展企業一覧	240
助成・個人および団体寄附ご芳名	241
実行委員名簿	242
虐待対応ネットワーク力向上研修会 ～虐待理解の学習会・交流会～	244

# ご挨拶



この度、北陸地方では初、石川県で学術集会を開催させていただくことになりました。大会準備に向けての2年半を振り返ると、ようやく、皆さまにプログラムをお届けできるという安堵と共に、言葉にならない感慨が胸に溢れます。

2018年4月に、福祉、母子保健、医療、教育、行政、地域の子育てグループなど、多職種からなる12名のメンバーから始まった準備会は、その後多くの関係者を巻き込みながら苦労を共にする仲間となりました。本業を持ちながらの、手弁当の大会準備。様々な思いや葛藤もあったと思います。大会開催までの歩みそのものが、多職種の「顔と顔が見える心をつなぐネットワーク」形成へのチャレンジであったとも感じています。

1年半にわたる期間の間に、9回の「虐待対応ネットワーク力向上研修会～虐待理解の学習会・交流会」をイベントとして開催し、地域のネットワークづくりも目指してきました。毎回、80名近くのご参加をいただくことができました。また今回の大会には、地域の多種多様な職種、企業等多くの皆さまから、温かいお言葉と共にご寄付等ご支援を賜りました。大会の開催をお引き受けすることは、地域における子ども家族支援への理解を深めて頂ける機会になると共に、関係者を網の目のようにつなぐ一助となり、次につながる希望となりました。

そして、迎えた2020年。新型コロナウイルス感染症流行に、大きく揺さぶられ、一時は開催そのものも危ぶまれる事態となりました。すべての作業は一旦ストップし、状況がどんどん変化する中で開催の可否をめぐり私達の苦悩も深まりました。しかし、不安が高まる今だからこそ、やはり繋がりを大切にしたい、と考えました。どのように皆さまを、石川県、金沢の会場でお迎えしようか、思い描いていた計画は、慌ただしく一から見直すこととなりました。参加者の皆さまには、十分な情報を逐一お届けできず、ご迷惑をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

オンラインとオンサイト（従来の会場集合型）併用という学術集会初の試みになります。それぞれの開催形式の強みを生かしたプログラム構成をご提示致しましたが、新しいスタイルの学術集会の幕開けになるのかもしれませんが。ご参加頂けます皆さまのお声は、これからの学術集会に活かされるものと思います。是非ご意見を頂けましたら幸甚です。

様々な困難に向き合いながら、2年半の歳月をかけて準備した大会は、多くの方々と出会い、関係を紡ぎ、助けられ支えあうことの学びの連続でした。関係者のだれ一人が欠けても、またJaSPCAN本部の先生方のご支援がなければ、開催に漕ぎつけられなかったものです。大会のテーマとして掲げた「心をとりのもどす～心を見つめるネットワーク形成へ～」の意義を字義通りに体験した今、大会で皆さまと分かち合えることを期待したいと思っております。

不安で揺さぶられる今だからこそ、子どもの育ちを見つめ続けられるあり方を検証し、ご参加いただく中でネットワークの力を感じ、皆さまがエンパワーされることを心から祈念し、また、関係者の皆さまに重ねて言葉に尽くせない感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2020年11月吉日

日本子ども虐待防止学会 第26回学術集会 いしかわ金沢大会  
大会長 沼田直子（石川県南加賀保健福祉センター所長（行政医、小児科医））

## 大会概要

名 称	日本子ども虐待防止学会第 26 回学術集会 いしかわ金沢大会
大会長	沼田 直子（石川県南加賀保健福祉センター所長（行政医、小児科医））
会 期	令和 2 年（2020 年）11 月 28 日（土）～ 11 月 29 日（日）
会 場	金沢歌劇座・石川県社会福祉会館・オンライン会場
参加者数	予定参加者 約 3,000 名
大会テーマ	心をとりのもどす ～心を見つめるネットワーク形成へ～
主 催	一般社団法人日本子ども虐待防止学会 日本子ども虐待防止学会第 26 回学術集会いしかわ金沢大会実行委員会
実行委員会事務局	日本子ども虐待防止学会第 26 回学術集会いしかわ金沢大会実行委員会事務局 （石川県立中央病院 医局内） E-mail: jaspcan.kanazawa@gmail.com
大会ウェブサイト	<a href="https://www.jaspcan26.jp/">https://www.jaspcan26.jp/</a>
演題登録	株式会社近畿日本ツーリスト中部 営業本部内 〒 450-0003 名古屋市中村区名駅 1-27-2 日本生命笹島ビル 14F TEL: 052-583-6500 E-mail: jaspcan26-endai@or.knt.co.jp
参加登録	株式会社 近畿日本ツーリスト中部 金沢支店 〒 920-0901 石川県金沢市彦三町 1 丁目 2-1 アソルティ金沢彦三 3 階 TEL: 0570-029-180 E-mail: jaspcan26-toroku@or.knt.co.jp
会議運営 （オンライン）	株式会社ユピア（YuPia Inc.） 〒 456-0005 名古屋市熱田区池内町 3-21 TEL: 052-872-8101 E-mail: jaspcan26@yupia.net

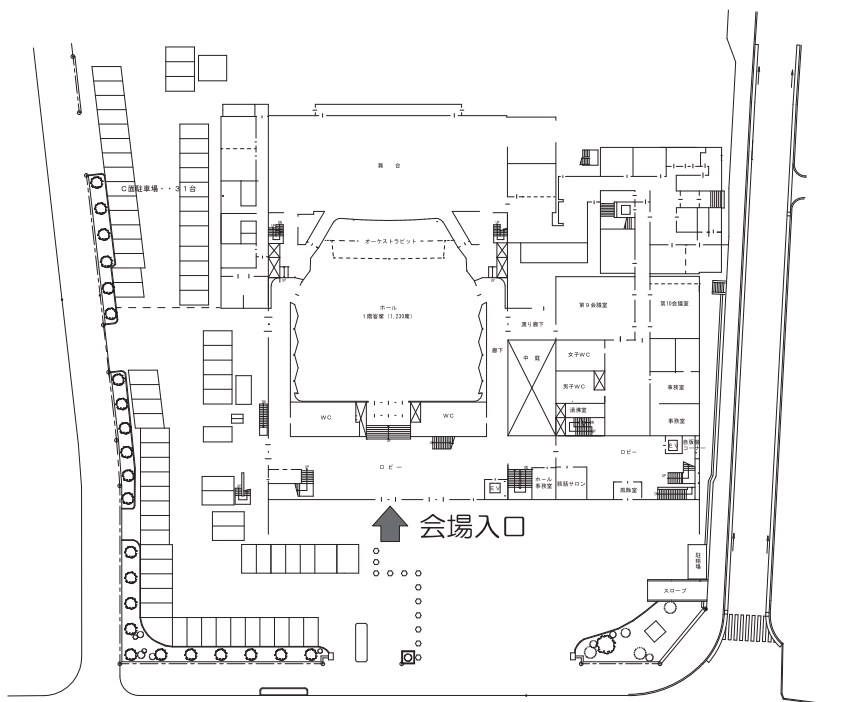
## 後 援

厚生労働省  
内閣府  
警察庁  
総務省  
法務省  
文部科学省  
最高裁判所  
日本赤十字社  
公益財団法人 日本ユニセフ協会  
社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会  
公益社団法人 日本医師会  
公益社団法人 日本小児科医会  
公益社団法人 日本産婦人科医会  
公益社団法人 日本助産師会  
公益社団法人 日本薬剤師会  
公益社団法人 日本歯科医師会  
公益社団法人 日本看護協会  
公益社団法人 日本社会福祉士会  
日本弁護士連合会  
一般社団法人 日本臨床心理士会  
一般社団法人 日本病院会  
全国児童相談所長会  
全国保健所長会  
全国保健師長会  
全国民生委員児童委員連合会  
全国児童養護施設協議会  
全国母子生活支援施設協議会  
全国児童自立支援施設協議会  
公益財団法人 全国里親会  
全国児童心理治療施設協議会  
全国児童家庭支援センター協議会  
全国自立援助ホーム協議会  
全国社会福祉協議会  
全国保育協議会  
全国保育士会  
全国乳児福祉協議会  
公益社団法人 全国私立保育園連盟  
社会福祉法人 日本保育協会  
全国連合小学校長会  
全日本中学校長会  
全国高等学校長協会  
全日本私立幼稚園連合会  
一般社団法人 全国認定こども園連絡協議会  
公益社団法人 日本小児科学会  
公益社団法人 日本産科婦人科学会  
一般社団法人 日本小児精神神経学会  
一般社団法人 日本小児救急医学会  
一般社団法人 日本小児心身医学会  
特定非営利活動法人 日本法医学会  
一般社団法人 日本児童青年精神医学会  
公益社団法人 日本精神神経学会  
公益社団法人 日本心理学会  
一般社団法人 日本心理臨床学会  
一般社団法人 日本社会福祉学会  
日本子ども家庭福祉学会  
公益財団法人 母子衛生研究会  
公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
公益社団法人 日本小児保健協会  
日本周産期精神保健研究会  
公益社団法人 日本精神神経科診療所協会  
公益社団法人 日本精神保健福祉士協会  
特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会  
公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会  
全国人権擁護委員連合会  
社会福祉法人 子どもの虐待防止センター  
日本子どもの虐待防止民間ネットワーク  
特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク  
一般財団法人 児童健全育成推進財団  
公益財団法人 SBI 子ども希望財団  
石川県  
金沢市  
石川県教育委員会  
金沢市教育委員会  
石川県警察本部  
金沢地方検察庁  
金沢地方法務局  
七尾市  
小松市  
輪島市  
珠洲市  
加賀市  
羽咋市  
かほく市  
白山市  
能美市  
野々市市  
川北町  
津幡町  
内灘町  
志賀町  
宝達志水町  
中能登町  
穴水町  
能登町  
七尾市教育委員会  
小松市教育委員会

輪島市教育委員会	金沢市民生委員児童委員協議会
珠洲市教育委員会	社会福祉法人 能美市社会福祉協議会
加賀市教育委員会	能美市国際交流協会
羽咋市教育委員会	国立大学法人 金沢大学
かほく市教育委員会	国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学
白山市教育委員会	石川県公立大学法人 石川県立大学
能美市教育委員会	石川県公立大学法人 石川県立看護大学
野々市市教育委員会	公立小松大学
川北町教育委員会	金沢星稜大学
津幡町教育委員会	金沢学院大学
内灘町教育委員会	金沢学院短期大学
志賀町教育委員会	金沢工業大学
宝達志水町教育委員会	金城大学
中能登町教育委員会	金城大学短期大学部
穴水町教育委員会	学校法人 北陸大学
能登町教育委員会	北陸学院大学
公益社団法人 石川県医師会	北陸学院大学短期大学部
公益社団法人 金沢市医師会	石川県高等学校長協会
石川県小児科医会	石川県小中学校長会
金沢市小児科医会	石川県養護教育研究会
石川県小児保健協会	石川県 PTA 連合会
石川県産婦人科医会	公益財団法人 いしかわ結婚・子育て支援財団
一般社団法人 石川県助産師会	CAP いしかわ
石川県神経科精神科医会	CAP のと
日本精神科病院協会 石川支部	富山 CAP
一般社団法人 石川県歯科医師会	特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク石川
一般社団法人 金沢市歯科医師会	子ども夢フォーラム
公益社団法人 石川県看護協会	特定非営利活動法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ
金沢大学附属病院 小児科	特定非営利活動法人 シェきらり
金沢大学附属病院 産科婦人科	のみ♥子育てネットワーク
金沢医科大学病院	北國新聞社
福井大学医学部附属病院 救急部	北陸中日新聞
金沢弁護士会	読売新聞北陸支社
石川県司法書士会	朝日新聞金沢総局
石川県精神保健福祉士会	毎日新聞社
石川県臨床心理士会	北陸放送
一般社団法人 石川県社会福祉士会	石川テレビ放送株式会社
公益社団法人 石川県栄養士会	テレビ金沢
公益社団法人 石川県薬剤師会	HAB 北陸朝日放送
石川県病院薬剤師会	時事通信社金沢支局
公益社団法人 石川県理学療法士会	日刊工業新聞社
公益社団法人 石川県作業療法士会	
公益社団法人 石川県言語聴覚士会	
公益社団法人 石川県診療放射線技師会	
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会	
社会福祉法人 石川県社会福祉協議会	
石川県社会福祉協議会 保育部会	
石川県社会福祉協議会 保育部会 保育士会	
石川県児童養護協議会	
一般社団法人 石川県私立保育園連盟	
石川県里親会	
社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会	

(順不同)

# 会場案内図

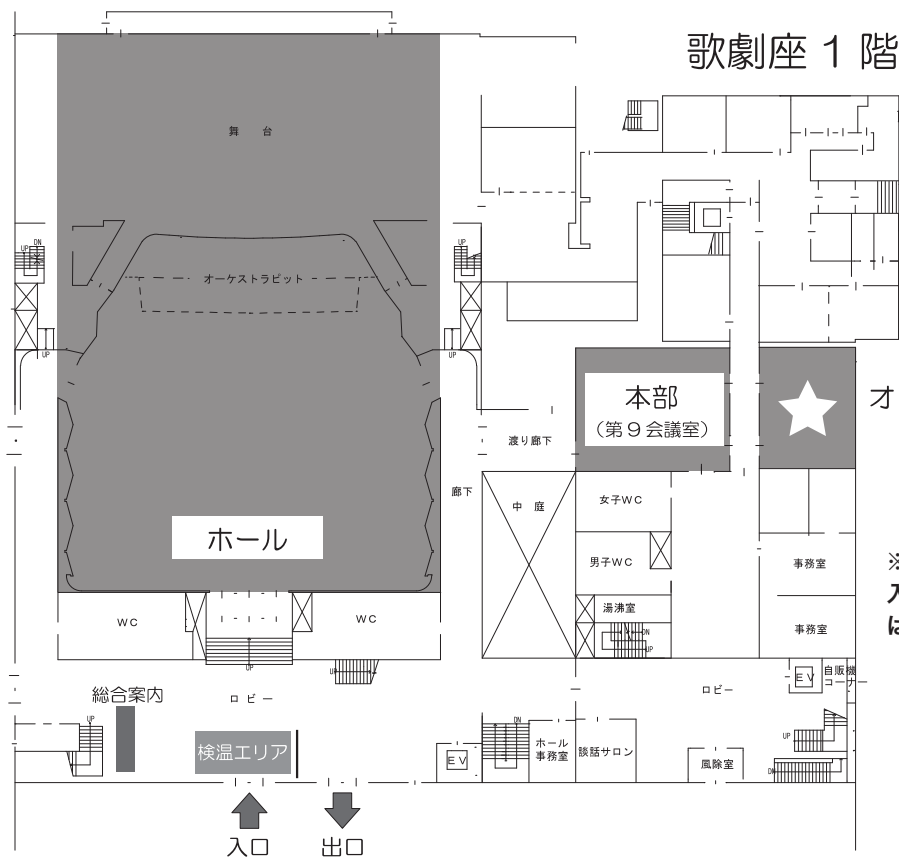


## 金沢歌劇座

※会場の駐車場は利用できません。

← 至 緑町交差点

⇒ 21世紀美術館・金沢駅方面



## 歌劇座 1階

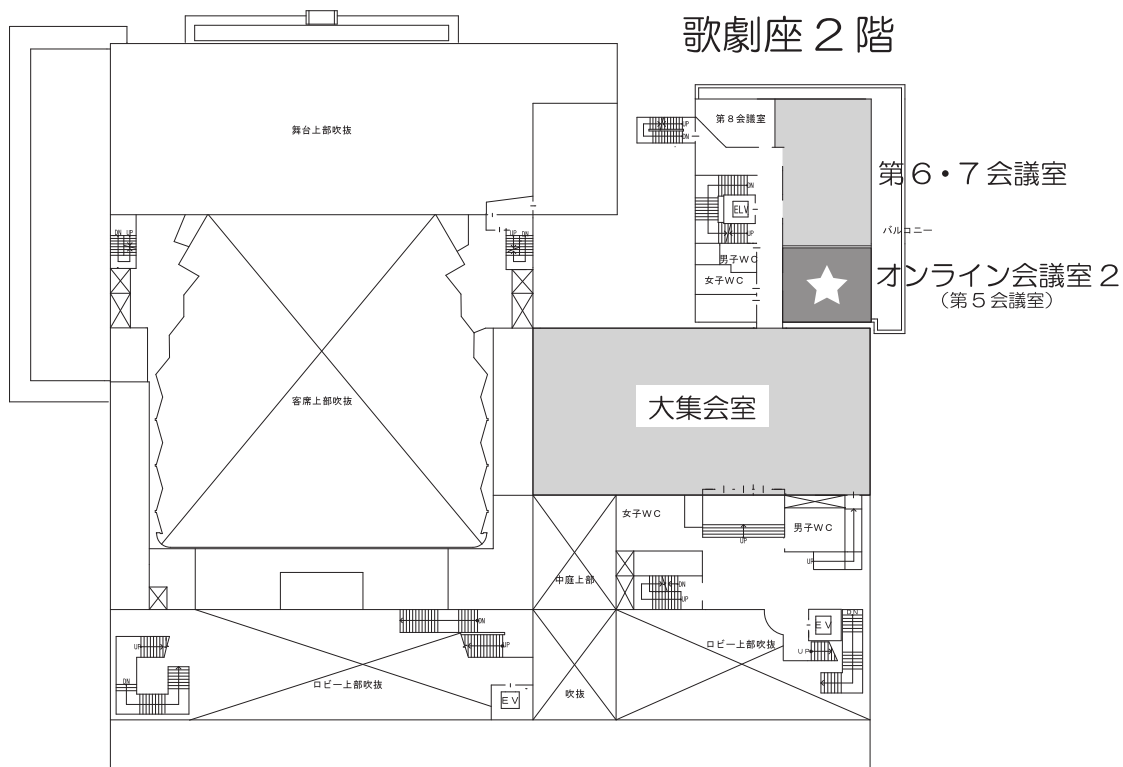
## 1階

オンライン会議室 1  
(第10会議室)

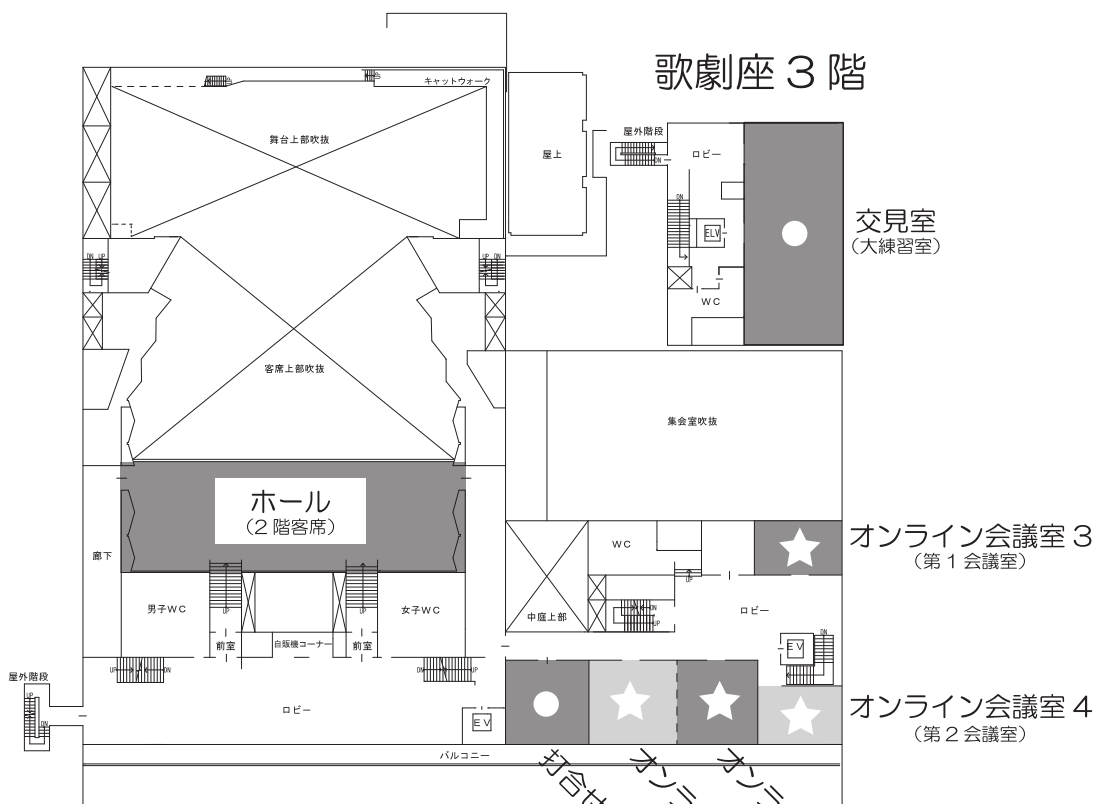
※オンライン会議室は、参加者の入室はできません。(発表者の方は、発表時間に限り入室可です)

# 会場案内図

2階



3階

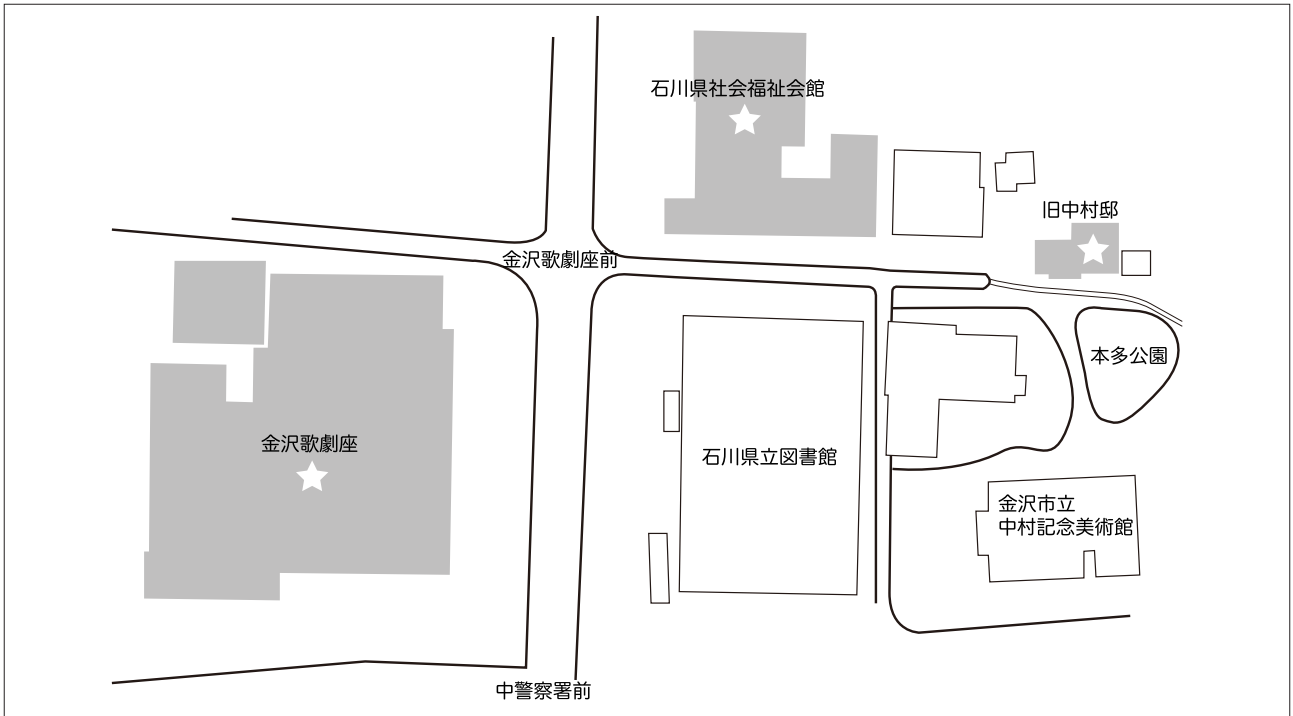


※オンライン会議室は、参加者の入室はできません。  
(発表者の方は、発表時間に限り入室可です)

打合せ室 (談話室)  
オンライン会議室 (予約制)  
オンライン会議室 (第4会議室)  
オンライン会議室 (第3会議室)  
オンライン会議室5  
オンライン会議室6

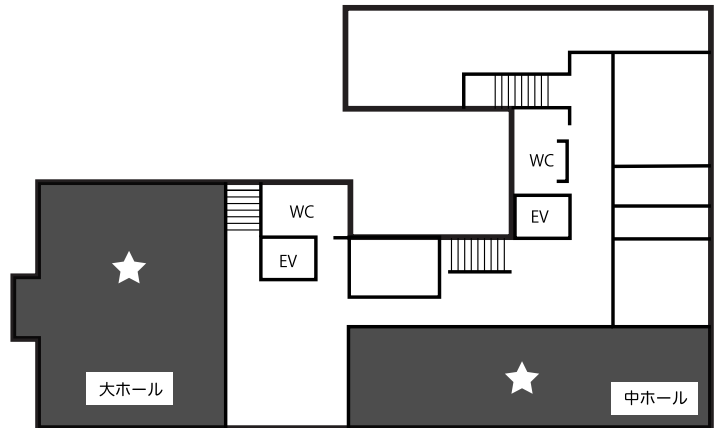


# 会場案内図



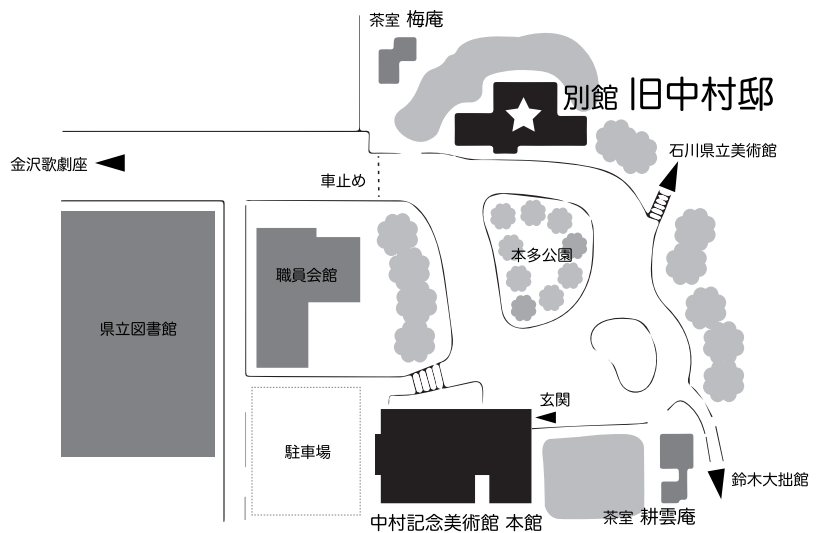
## 石川県社会福祉会館 4階

(昼食会場)



## 旧中村邸

(呈茶サービス)





# 会場へのアクセス

**会場：金沢歌劇座** 金沢市下本多町 6-27 (076)220-2501

## 北陸鉄道バス：

金沢駅東口バス 3 番のりば「東部車庫」「金沢学院大学」行きに乗車、  
本多町にて下車（乗車時間 約 20 分、運賃 200 円）

## 城下まち金沢周遊バス：







金沢駅東口バス 7 番のりばより乗車、本多町にて下車  
（乗車時間 約 20 分、運賃 200 円 \*右回り・左回りルートどちらでも可）



金沢歌劇座				オンライン会議室		
	ホール	大集会室	第6 第7会議室	1		
8:30						
9:00						
9:30	ウェルカムステージ オープニング・開会式					
10:00	<b>特別講演</b> 「人が育つということ、そばに在ること～個別性とエビデンス～」  村瀬 嘉代子 青木 省三  			<b>大会企画シンポジウム 1</b> 「親権と親権制限に対する子どもの意見の反映～懲戒権についての議論、児童相談所への弁護士配置、裁判手続きにおける子どもの意見表明を題材に～」 中 聖子		
10:30						
11:00		<b>学会企画シンポジウム</b> 「障害児虐待の実態把握と虐待予防を踏まえた家族支援、障害児施設内虐待予防について」  米山 明 	<b>Basic Lecture ①</b> 「28条って何？～虐待と法律～」 岩佐 嘉彦 	<b>教育講演</b> 「子ども福祉と教育を横断するソーシャルバダゴジー概念に学ぶ」 森 茂起		
11:30	<b>大会長企画 1</b> 0 to 20 (ゼロ歳から20歳まで) ～子どもの育ちをネットワークでつなぎ見守るために～ 「虐待予防は親子の関係性のはじまりから～周産期をめぐるネットワーク・石川県の取り組み～」  沼田 直子  		<b>Basic Lecture ②</b> 「要対協って何？～支援の枠組み～」 増沢 高 			
11:40						
11:45						
11:50						
11:55						
12:00						
12:30						
12:40						
13:00				<b>日本財団 スポンサードセッション</b> 「子ども基本法の制定をめざして」  座長：高橋 恵里子		
13:30	<b>大会企画シンポジウム 2</b> 「聖地金沢で考える「進化する新たな児童相談所」一子ども虐待を人任せにしない一元化・スマート化～」  川並 利治 井上 景  	<b>特別企画プログラム 2-1</b> 「対話から学ぶもの」 「子ども達と暮らして思ったこと」  三好 洋子 佐道 寛 	<b>Basic Lecture ③</b> 「一時保護って何？～子どもへの対応の枠組み～」 福村 一 			
14:00						
14:15						
14:20						
14:30			<b>事例検討①</b>	<b>大会企画講演</b> 「男たちの暴力をどうするかー虐待する父親への「男親塾」の取り組みからー」 中村 正		
15:00	<b>特別企画プログラム 1</b> 「仲間を増やす。」  今 明秀  	<b>特別企画プログラム 2-2</b> 「対話から学ぶもの」 「親子の始まりを支えることの意味」  橋本 洋子 岡田 由美子 				
15:10						
15:20						
15:30					<b>事例検討②</b>	<b>大会企画シンポジウム 3</b> 「次世代育成プログラム：石川県版 高校生への親子交流授業」を通して親になる前の子ども虐待防止活動を考える～子ども虐待の世代間連鎖を断つファーストステップの可能性～ 西村 真実子
15:40						
16:00						
16:20						
16:30						
16:40						

※オンライン会場の Zoom セッションは、すべて事後配信します。

オンライン会議室				
2	3	4	5	6
<b>オープニング</b>				
<b>S-01</b> 児童相談所におけるネグレクト・心理的虐待のリスクアセスメントシート開発に向けて 山田 麻紗子	<b>S-06</b> 児童相談所における人材育成の実際とこれから 信田 力哉	<b>S-11</b> 産前・産後における母と子への予防的支援の展開ー母子生活支援施設の実践に焦点化しての検討ー 中島 尚美	<b>S-16</b> 子育てとアディクションー何が必要？何ができる？アディクションのある親とその子どものケアー 森田 展彰	<b>S-21</b> 子どものセルフアドボカシーを支援する「デザイン言語」レッスンー5つの「きく」力を育む「クエストリスニング」ー 伊藤 嘉余子
<b>S-02</b> 心理職が児童福祉司を経験することで見えてきたものーこれまでを振り返って次へー 南 博真	<b>S-07</b> 「それなら、私が！」保護者へ寄り添う支援に手を挙げる学校が次々誕生した。ー地域からの実践報告ー 矢後 芳明	<b>S-12</b> 日本におけるケアリーパー調査（措置解除後実態把握調査）の具現化ー先行調査自治体からの示唆 永野 咲	<b>S-17</b> 子どもの権利保障のための体罰・虐待予防の効果的施策について 森 保道	<b>S-22</b> 病院拠点型性暴力被害ワンストップ支援センターが担う子どもと被加害親等や周辺へのソーシャルアプローチ 佐藤 浩子
<b>S-03</b> 社会的養護の子どもたちのライフストーリーワークー被虐待の子どもたちへの実施を考えるー 才村 眞理	<b>S-08</b> 家族応援会議を使った緊急安全計画の実装化に向けて（実践・研修を中心に） 小林 美和	<b>S-13</b> 社会的養護の当事者が考える当事者参画ー新型コロナウイルス感染症（COVID-19）があぶりだしたものの 相澤 仁	<b>S-18</b> アタッチメントに基づく支援ー関係機関・保護者・子どもそれぞれに対してー 服部 隆志	<b>S-23</b> 社会的養護における子どもと養育者の心の通い合い：難しさと糸口 麻生 典子
<b>ポスター1</b> 児童相談所1 司法 座長：岩佐 和代 P-01-06	<b>ポスター2</b> 教育 その他 座長：野田 正人 P-07-11	<b>ポスター3</b> 医療 座長：森 昭憲 P-12-17	<b>ポスター4</b> 子育て支援 里親 市町村 座長：和田 一郎 P-18-23	
<b>S-04</b> 児童相談所における児童心理司の役割を考えるー子どもの虹情報研修センターの研究からー 菅野 道英	<b>S-09</b> With コロナ時代における虐待対応現場でのデータ利活用の提案：データとAIを現場でどう活用するか？ 高岡 昂太	<b>S-14</b> 「児童養護施設と児童相談所の連携の新たなあり方を考える」ー施設内「性的問題」の対応を巡ってー 小木曾 宏	<b>S-19</b> ペアレンティングプログラム手法を活用した妊婦・乳幼児の母への継続的グループ支援の評価と課題 西村 真実子	<b>S-24</b> 里親制度の理想と現実ー里親委託を伸展させるために必要なことー 中嶋 一郎
<b>□頭1</b> 児童相談所 民間団体 その他 座長：中垣 真通 O-01-06	<b>□頭2</b> 医療 1 座長：小橋 孝介 酒誌 忍 O-07-11	<b>□頭3</b> 医療 2 その他 座長：藤林 武史 轟 千栄子 O-12-17	<b>□頭4</b> 母子保健 民間団体 座長：吉田 みち代 岡部 牧子 O-18-23	<b>□頭5</b> 市町村 その他 座長：八木 安理子 数井 芳恵 O-24-29
<b>S-05</b> ソフトとハードから考えるこれからの一時保護所 川本 出	<b>S-10</b> 児童相談所が三機関協同面接の中で果たすべき役割とその課題 鈴木 浩之	<b>S-15</b> 乳児院が取り組む産前産後母子支援事業 酒井 ひろ子	<b>S-20</b> 18歳の壁を越えることの意味ー途切れない支援を保障するために 加藤 曜子	<b>S-25</b> 虐待防止・地域子育て支援としての里親ショートステイのしくみづくりについて 松崎 佳子

		金沢歌劇座			オンライン会議室
		ホール	大集会室	第 6 第 7 会議室	1
9:00	<b>特別企画プログラム 3</b> 「Dr. G と Dr. H の小児虐待救急対応基本の ABC」 Dr. G & Dr. H provide “ABC of child abuse in Emergency Department”  Ran Goldman 林 寛之  事前収録動画をオンデマンド配信します。			<b>大会企画 2</b> 0 to 20 (ゼロ歳から 20 歳まで) ～子どもの育ちをネットワークでつなぎ見守るために～ 「子どもをめぐるネットワークの「顔」と「役割」、その「機能」を検証してみよう ～生まれる前から 20 歳になるまで子どもはいかに見守られるのか～」  沼田 直子	<b>大会企画シンポジウム 4</b> 「子どもたちのリスクを取りこぼさない学校 ～学校(教師)に何ができるのか～」  西上 純一 山野 則子
9:30					
10:00					
10:30					
10:40	<b>海外招聘プログラム</b> 「アタッチメント理論をベースにした親子への介入の実際」  北川 恵 遠藤 利彦 Anna Huber   	<b>大会特別企画</b> 「対話から学ぶ、感じる、つながらる」  この人と語ろう 1 ～司法、福祉、医療それぞれ見えるものの違いって～  西澤 哲 岩佐 嘉彦  		<b>大会企画シンポジウム 5</b> 「子ども虐待の未然防止をめざして ～妊娠期からのきれ目のない支援と親が安心できる関係づくり～」  西村 真実子	
11:00					
11:30					
11:50					
12:00					
12:10					
12:30					
13:00	<b>大会企画シンポジウム 6</b> 「医療者が虐待に向き合うということ 虐待に向き合うとは？」 ～医療者の思いを語る～  大野 一郎 五十嵐 登 酒詰 忍 轟 千栄子 森 昭憲 佐々木 博正 犀川 太  事前収録動画をオンデマンド配信します。	<b>大会特別企画</b> 「対話から学ぶ、感じる、つながらる」 この人と語ろう 2 ～里親として暮らすこと～  津崎 哲郎 二飯田 秀一  	<b>大会企画 2</b> 0 to 20 (ゼロ歳から 20 歳まで) ～子どもの育ちをネットワークでつなぎ見守るために～ 「子どもをめぐるネットワークの「顔」と「役割」、その「機能」を検証してみよう ～生まれる前から 20 歳になるまで子どもはいかに見守られるのか～」  沼田 直子	<b>大会企画シンポジウム 7</b> 「社会的養護にかかる人材の確保・育成・定着について ～施設、養成校、研修機関の連携と協働が拓く、人材共育の可能性～」  川並 利治	
13:30					
13:50					
14:00		<b>この人と語ろう 3</b> ～教員から福祉の世界に飛び込んで～  中村 秀人 喜多 泉  		<b>大会企画シンポジウム 8</b> 「子どもの SOS を受け止め、関係機関につなぐには ～密接な連携とは～」  西上 純一 針多 桂子 大西 芳恵 高松 宏晃	
14:30					
14:50					
15:00		<b>この人と語ろう 4</b> ～保育の世界から見えてくるもの～  櫻井 慶一 作本 文枝  			
15:30					
15:50					
16:00	クロージング				
16:30					

※オンライン会場の Zoom セッションは、すべて事後配信します。

オンライン会議室				
2	3	4	5	6
<b>S-26</b> 法医学との連携による 子ども虐待支援  佐藤 拓代	<b>S-31</b> アタッチメント理論で紡ぐ9年間の『性・生教育』～ Trauma Informed education ～  小野 太恵子	<b>S-36</b> 協同面接のその先へ  根ヶ山 裕子		<b>S-46</b> 被虐待乳幼児の精神病理に対する3軸評価法CAT-Pの開発：第1報一開発目的、内容、準備的有用性一  青木 豊
<b>S-27</b> 家族間力動の「可視化」からDV・児童虐待への介入と支援・ケアを考えるー児童相談所のアプローチを中心にー  増井 香名子	<b>S-32</b> チーム学校を形成するスクリーニングシステム（発見から支援まで）～AI システム構築の可能性～  山野 則子	<b>S-37</b> 多胎家庭の虐待未然防止について～地域で多胎家庭を孤立させない取り組みについて考える～  布施 晴美	<b>S-42</b> 市区町村子ども家庭相談実践事例に見られる取り組みのヒント  川松 亮	<b>S-47</b> 児童家庭福祉領域におけるスーパーバイズのあり方と育成について  増沢 高 藤林 武史
<b>S-28</b> 家族と支援者が協働するために一家族を交えた会議を活かすファシリテーション  久保 樹里	<b>S-33</b> 臨床と研究の融合ー脳科学的視点から子どもの発達を考える  水島 栄	<b>S-38</b> 夫婦関係のズレから考える児童虐待予防ーズレの修正プログラム・産前からの予防プログラムー  柴田 俊一	<b>S-43</b> 虐待防止に関わる児童相談所業務の民間団体への委託ーその可能性と課題ー  明橋 大二	<b>S-48</b> 犬を用いた子どもの証言を支援する試みー司法での付添犬活動の普及に向けてー  丸山 洋子
<b>ポスター5</b> 児童福祉施設 児童相談所2  座長：井上 景 P-24-29	<b>ポスター6</b> 母子保健 子育て支援  座長：吉田 みち代 P-30-33	<b>ポスター7</b> 障がい教育 その他  座長：大矢 寿美子 P-34-37		
<b>S-29</b> 児童相談所におけるスーパーバイザーとしての育ちをボトムアップで考える<児童福祉司SV編>  北谷 多樹子	<b>S-34</b> 自粛生活による子ども・家族への影響ー医療機関での現状と看護師が行う支援を考えるー  川口 めぐみ	<b>S-39</b> 札幌児童死亡事例が遺したもの  鈴木 秀洋	<b>S-44</b> 誰のニーズによる親子関係再構築（家族再統合）か再構築支援における子ども・親・支援者のニーズを考える  宮口 智恵	<b>S-49</b> 予期せぬ妊娠への母子保健と児童福祉からのアプローチ  赤尾 さく美
<b>S-30</b> 児童虐待通告窓口の一元的運用と区分対応システム（Differential Response）の可能性とこれからの展望  畠山 由佳子	<b>S-35</b> 地域子ども家庭支援の新たなかたちー児童家庭支援センターによる市町村支援、里親支援の先駆的実践からー  橋本 達昌	<b>S-40</b> 虐待予防としての居場所の働き  村上 靖彦	<b>S-45</b> 新型コロナ禍の家庭内の3密への対応で虐待未然防止 地域の様々な取り組みの現状とこれから  松岡 典子	<b>S-50</b> 社会的養育経験者へのアフターケア標準化に向けた実践と課題  安井 飛鳥
<b>口頭6</b> 児童福祉施設1  座長：橋本 達昌 佐道 寛 O-30-35	<b>口頭7</b> 児童福祉施設2 教育 障がい  座長：増沢 高 O-36-41	<b>口頭8</b> 子育て支援  座長：和田 一郎 藤田 千恵 O-42-47	<b>口頭9</b> 里親・養子縁組 その他  座長：津崎 哲郎 二飯田 秀一 O-48-53	<b>S-51</b> 社会的養護をボトムアップで組み立てることと理念  佐藤 桃子
クロージング				

会場：金沢歌劇座・オンライン会場

開会式

● 11月28日（土）9：30～10：00 金沢歌劇座 ホール

1. 開会
2. 大会長あいさつ  
沼田 直子（石川県南加賀保健福祉センター所長（行政医、小児科医））
3. 理事長あいさつ  
奥山 真紀子（日本子ども虐待防止学会 理事長）
4. 来賓あいさつ  
谷本 正憲（石川県知事）  
山野 之義（金沢市長）
5. 閉会

特別講演

● 11月28日（土）10：00～11：30 金沢歌劇座 ホール

「人が育つということ、そばに在ること ～個別性とエビデンス～」

座 長：沼田 直子（石川県南加賀保健福祉センター所長（行政医、小児科医））

秋山 典子（精神科医、保健所嘱託医）

講 師：村瀬 嘉代子（日本心理研修センター、大正大学）

青木 省三（（公財）慈圭会精神医学研究所）

チェロ演奏：ソングジュン・キム（オーケストラ・アンサンブル金沢）

▶抄録：4 ページ



## 海外招聘プログラム

### ● 11月29日（日）10：40～12：10 金沢歌劇座 ホール

「アタッチメント理論をベースにした親子への介入の実際」  
 "Intervention for the parent-child relationship based on attachment theory"

座 長：久保田 まり（東洋英和女学院大学大学院）  
 講 師：Anna Huber, Ph.D.（Center for Emotional Health, Macquarie University, Australia）  
 Megumi Kitagawa, Ph.D. / 北川 恵（Konan University/ 甲南大学）  
 Toshihiko Endo, Ph.D. / 遠藤 利彦（University of Tokyo/ 東京大学）

▶抄録：6 ページ

## 特別企画プログラム 1

### ● 11月28日（土）15：10～16：40 金沢歌劇座 ホール

「仲間を増やす」

座 長：林 寛之（福井大学医学部附属病院救急科総合診療部）  
 講 師：今 明秀（八戸市立市民病院 院長兼臨床研修センター所長）

▶抄録：8 ページ

## 特別企画プログラム 2-1

### ● 11月28日（土）13：30～15：00 金沢歌劇座 大集会室

対話から学ぶもの「子ども達と暮らして思ったこと」

座 長：沼田 直子（石川県南加賀保健福祉センター）  
 濱口 優子（石川県立中央病院）  
 講 師：三好 洋子（社会福祉法人青少年と共に歩む会 理事）  
 佐道 寛（社会福祉法人享誠塾 統括施設長）

▶抄録：10 ページ

## 特別企画プログラム 2-2

### ● 11月28日（土）15：10～16：40 金沢歌劇座 大集会室

対話から学ぶもの「親子の始まりを支えることの意味」

座 長：沼田 直子（石川県南加賀保健福祉センター）  
 望月 昇（石川県中央児童相談所）  
 講 師：橋本 洋子（山王教育研究所）  
 岡田 由美子（加古川中央市民病院小児科）

▶抄録：11 ページ



## 特別企画プログラム 3

### ● 11月29日（日）9：00～10：30 金沢歌劇座 ホール

「Dr. G と Dr. H の小児虐待救急対応基本の ABC」

Dr. G & Dr. H provide ABC of child abuse in Emergency Department

座 長：犀川 太（金沢医科大学）

酒詰 忍（金沢医療センター）

講 師：ラン・ゴールドマン / Ran Goldman, MD.

（ブリティッシュコロンビア大学小児科教授（カナダ）、ブリティッシュコロンビア小児病院、  
福井大学客員教授 / Professor. Department of Pediatrics, University of British Columbia.

BC Children's Hospital. Visiting professor, University of Fukui）

林 寛之 / Hiroyuki Hayashi, MD.

（福井大学医学部附属病院救急科総合診療部教授 /

Professor. Department of Emergency Medicine and Family Medicine, University of Fukui）

▶抄録：12 ページ

## 大会長企画 1

### ● 11月28日（土）11：40～13：00 金沢歌劇座 ホール

0 to 20（ゼロ歳から20歳まで）～子どもの育ちをネットワークでつなぎ見守るために～

「虐待予防は親子の関係性のはじまりから

～周産期をめぐるネットワーク・石川県の取り組み～」

企 画 者：沼田 直子（石川県南加賀保健福祉センター所長（行政医、小児科医））

座 長：橋本 洋子（一般社団法人山王教育研究所）

沼田 直子（石川県南加賀保健福祉センター）

発 表 者：岡部 牧子（石川県健康福祉部障害保健課（保健師））

藪井 芳恵（加賀市健康福祉部子育て支援課子育て応援ステーション所長（保健師））

常盤 秀樹（石川県児童生活指導センター所長）

秋山 典子（精神科医、保健所嘱託医）

吉田 みち代（ゆたか助産院（助産師））

（産科：ビデオメッセージの予定）

▶抄録：14 ページ

## 大会長企画 2

● 11月29日（日）9：00～11：30 / 12：30～16：00

### 金沢歌劇座 第6第7会議室

0 to 20（ゼロ歳から20歳まで）～子どもの育ちをネットワークでつなぎ見守るために～  
「子どもをめぐるネットワークの「顔」と「役割」、その「機能」を検証してみよう  
～生まれる前から20歳になるまで子どもはいかに見守られるのか～」

企画者：沼田直子（石川県南加賀保健福祉センター所長（行政医、小児科医））

ファシリテーター：日本子ども虐待防止学会第26回学術集会いしかわ金沢大会虐待予防ワーキンググループ

発表者：妊娠期から社会的自立に至るまで、関わる関係機関、職種

▶抄録：15ページ

## 大会特別企画

「対話から学ぶ、感じる、つながる」

● 11月29日（日）10：40～12：10 金沢歌劇座 大集会室

この人と語ろう1 ～司法、福祉、医療それぞれ見えるものの違いって～

座長：酒詰 忍（金沢医療センター）  
 演者：西澤 哲（山梨県立大学人間福祉学部 学部長・教授）  
 岩佐 嘉彦（いぶき法律事務所、弁護士）

● 11月29日（日）13：00～14：00 金沢歌劇座 大集会室

この人と語ろう2 ～里親として暮らすこと～

座長：常盤 秀樹（石川県立児童生活指導センター）  
 演者：津崎 哲郎（児童虐待防止協会理事長、前全国里親会副会長）  
 二飯田 秀一（ファミリーホーム「旬」代表、石川県里親会副会長）

● 11月29日（日）14：00～15：00 金沢歌劇座 大集会室

この人と語ろう3 ～教員から福祉の世界に飛び込んで～

座長：西上 純一（サポーター（石川県教育委員会））  
 演者：中村 秀人（聖霊乳児院院長）  
 喜多 泉（のみ♡子育てネットワーク顧問）

● 11月29日（日）15：00～16：00 金沢歌劇座 大集会室

この人と語ろう4 ～保育の世界から見えてくるもの～

座長：針多 桂子（白山市教育センター）  
 演者：櫻井 慶一（文教大学名誉教授 全国夜間保育園連盟顧問）  
 作本 文枝（保育士・児童心理カウンセラー・不登校対応アドバイザー）

▶抄録：16 ページ

## 大会企画シンポジウム 1

### ● 11月28日（土）10：00～10：50 オンライン会議室 1

「親権と親権制限に対する子どもの意見の反映～懲戒権についての議論、児童相談所への弁護士配置、裁判手続きにおける子どもの意見表明を題材に～」

企画者：中 聖子（金沢弁護士会子どもの権利委員会）

座 長：中 聖子（金沢弁護士会子どもの権利委員会）

発表者：磯谷 文明（日本弁護士連合会子どもの権利委員会 法制審議会民法（親子法制）部会）

久保 健二（福岡市こども総合相談センター 弁護士）

▶抄録：18 ページ

## 大会企画シンポジウム 2

### ● 11月28日（土）13：30～15：00 金沢歌劇座 ホール

聖地金沢で考える「進化する新たな児童相談所」—子ども虐待を人任せにしない一元化・スマート化—

企画者：川並 利治（金沢星稜大学）

井上 景（西日本こども研修センターあかし）

座 長：川並 利治（金沢星稜大学）

発表者：井上 景（西日本こども研修センターあかし）

今寺 誠（金沢市こども相談センター）

佐野 洋子（明石市福祉局）

土橋 俊彦（世田谷区児童相談所）

田崎 みどり（港区児童相談所設置準備担当）

▶抄録：20 ページ

## 大会企画シンポジウム 3

### ● 11月28日（土）15：30～16：20 オンライン会議室 1

「次世代育成プログラム：石川県版 高校生への親子交流授業」を通して 親になる前の子ども虐待防止活動を考える  
～子ども虐待の世代間連鎖を断つファーストステップの可能性～

- 企画者：西村 真実子（石川県立看護大学）  
座長：田中 哲（子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ）  
高桑 しなこ（石川県教員総合研修センター）  
発表者：村上 昌稔（公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団）  
岡山 和美（石川県立鹿西高校）  
水島 栄美子（NPO法人子育て支援はぐはぐそのままいいよ）  
千原 裕香（石川県立看護大学）

▶抄録：22 ページ

## 大会企画シンポジウム 4

### ● 11月29日（日）9：00～9：50 オンライン会議室 1

「子どもたちのリスクを取りこぼさない学校 ～学校（教師）に何ができるのか～」

- 企画者：西上 純一（サポーター（石川県教育委員会））  
山野 則子（大阪府立大学）  
座長：山野 則子（大阪府立大学）  
発表者：木村 泰子（元大空小学校 校長）  
西野 緑（大阪府教育委員会 SSW・スーパーバイザー）  
常盤 秀樹（石川県立児童生活指導センター）

▶抄録：24 ページ

## 大会企画シンポジウム 5

### ● 11月29日（日）10：00～10：50 オンライン会議室 1

「子ども虐待の未然防止をめざして 一妊娠期からのきれ目のない支援と親が安心できる関係づくり」

- 企画者：西村 真実子（石川県立看護大学）  
座長：中板 育美（武蔵野大学看護学部）  
発表者：榊原 信子（福井大学子どものこころの発達研究センター）  
園部 真美（東京都立大学健康福祉部）  
西村 真実子（石川県立看護大学）  
鷺山 拓男（とよたまこころの診療所）

▶抄録：26 ページ

## 大会企画シンポジウム 6

● 11月29日（日）13：00～15：00 金沢歌劇座 ホール

「医療者が虐待に向き合うということ 虐待に向き合うとは？～医療者の思いを語る～」

企画者：大野 一郎（独立行政法人国立病院機構医王病院）  
 五十嵐 登（富山県立中央病院）  
 酒詰 忍（独立行政法人国立病院機構金沢医療センター）  
 轟 千栄子（とどろき医院）  
 森 昭憲（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）  
 佐々木 博正（石川県立中央病院）  
 犀川 太（金沢医科大学）

座長：山田 不二子（認定NPO法人チャイルドファーストジャパン）

発表者：五十嵐 登（富山県立中央病院小児科）  
 宮坂 実木子（国立成育医療研究センター放射線診療部）  
 溝口 史剛（前橋赤十字病院小児科）  
 岩佐 嘉彦（いぶき法律事務所・弁護士）  
 田崎 みどり（港区児童相談所設置準備担当・精神科）

ファシリテーター：犀川 太（金沢医科大学小児科）  
 大野 一郎（独立行政法人国立病院機構医王病院小児科）

▶抄録：28 ページ

## 大会企画シンポジウム 7

● 11月29日（日）13：00～13：50 オンライン会議室 1

「社会的養護にかかる人材の確保・育成・定着について～施設、養成校、研修機関の連携と協働が拓く、人材共育の可能性～」

企画者：川並 利治（金沢星稜大学）

座長：増沢 高（子どもの虹情報研修センター）

発表者：増沢 高（子どもの虹情報研修センター）  
 橘川 英和（伊豆長岡学園）  
 橋本 達昌（児童家庭支援センター・児童養護施設一陽）  
 伊藤 篤（甲南女子大学）

▶抄録：30 ページ

## 大会企画シンポジウム 8

### ● 11月29日（日）14：00～14：50 オンライン会議室 1

「子どものSOSを受け止め、関係機関につなぐには ～密接な連携とは～」

- 企画者：西上 純一（サポーター（石川県教育委員会））  
 針多 桂子（白山市教育センター）  
 大西 芳恵（金沢市立大徳小学校 養護教諭）  
 高松 宏晃（白山市鶴来中学校 教頭）
- 座長：峯本 耕治（NPO 法人 TPC 教育サポートセンター 代表）
- 発表者：新田 司（千葉敬愛短期大学 教授）  
 加藤 尚子（明治大学 教授）  
 大塚 美和子（神戸学院大学 准教授）  
 西郷 孝彦（元世田谷区立桜丘中学校 校長）

▶抄録：32 ページ

## 学会企画シンポジウム

### ● 11月28日（土）11：00～13：00 金沢歌劇座 大集会室

「障害児虐待の実態把握と虐待予防を踏まえた家族支援、障害児施設内虐待予防について」

- 企画者：米山 明（日本子ども虐待防止学会 障害児虐待予防ワーキングチーム 委員長）
- 座長：米山 明（心身障害児総合医療療育センター小児科）  
 光真坊 浩史（品川児童学園）
- 発表者：光真坊 浩史（障害児虐待予防ワーキングチーム 委員）  
 川崎 二三彦（子どもの虹情報研修センター）  
 岡崎 俊彦（奥中山学園）  
 有村 大士（日本社会事業大学）  
 齋藤 信哉（国立障害者リハビリテーションセンター学院）  
 北川 聡子（社会福祉法人麦の子会）
- 指定発言：佐藤 拓代（公益社団法人母子保健推進会議）  
 渡邊 直（千葉県柏児童相談所）

▶抄録：34 ページ



## 日本財団スポンサーセッション

### ● 11月28日（土）13：00～14：20 オンライン会議室1

「子ども基本法の制定をめざして」

座長：高橋 恵里子（日本財団）  
 発表者：奥山 眞紀子（日本子ども虐待防止学会理事長）  
 大谷 美紀子（国連子どもの権利委員）  
 当事者など

▶抄録：36 ページ

## 学会企画 倫理・COI 委員会セミナー

### ● 11月29日（日）11：00～11：50 オンライン会議室1

「学会発表に求められる研究倫理を考える」

演者：御牧 信義（倉敷成人病センター小児科）  
 岩佐 嘉彦（いぶき法律事務所）  
 藤林 武史（福岡市子ども総合相談センター）  
 田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）  
 佐藤 拓代（公益社団法人母子保健推進会議）

▶抄録：37 ページ

## 教育講演

### ● 11月28日（土）11：00～11：50 オンライン会議室1

「子ども福祉と教育を横断するソーシャルペダゴジー概念に学ぶ」

講師：森 茂起（甲南大学文学部人間科学科）

▶抄録：38 ページ

## 大会企画講演

### ● 11月28日（土）14：30～15：20 オンライン会議室1

「男たちの暴力をどうするか - 虐待する父親への「男親塾」の取り組みから -」

講師：中村 正（立命館大学）

▶抄録：39 ページ

## Basic Lecture 1

- 11月28日（土）11：00～11：45 金沢歌劇座 第6第7会議室

「28条って何？～虐待と法律～」  
児童福祉法28条1項1号の手続きについて

講師：岩佐 嘉彦（いぶき法律事務所・弁護士）

▶抄録：40 ページ

## Basic Lecture 2

- 11月28日（土）11：55～12：40 金沢歌劇座 第6第7会議室

「要対協って何？～支援の枠組み～」  
求められる早期の予防的支援と要保護児童対策地域協議会の役割

講師：増沢 高（子どもの虹情報研修センター（日本虐待・思春期問題情報研修センター）研究部長・臨床心理士）

▶抄録：40 ページ

## Basic Lecture 3

- 11月28日（土）13：30～14：15 金沢歌劇座 第6第7会議室

「一時保護って何？～子どもへの対応の枠組み～」  
保護された子どもの安全・安心の確保と権利擁護

講師：福村 一（石川県中央児童相談所長）

▶抄録：40 ページ

## 事例検討 1

- 11月28日（土）14：30～15：30 金沢歌劇座 第6第7会議室

会員限定で事例検討を行います

▶抄録：41 ページ

## 事例検討 2

- 11月28日（土）15：40～16：40 金沢歌劇座 第6第7会議室

会員限定で事例検討を行います

▶抄録：41 ページ



## 公募シンポジウム

No.	タイトル・企画者	日時	会場	抄録 ページ
S-01	児童相談所におけるネグレクト・心理的虐待のリスクアセスメントシート開発に向けて 山田 麻紗子（人間環境大学人間環境学部心理学科）	28日（土） 9:00～ 9:50	オンライン 会議室 2	44
S-02	心理職が児童福祉司を経験することで見えてきたもの ーこれまでを振り返って次へー 南 博貴（京都府宇治児童相談所京田辺支所）	28日（土） 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 2	46
S-03	社会的養護の子どもたちとのライフストーリーワーク ー被虐待の子どもたちへの実施を考えるー 才村 眞理（大阪ライフストーリー研究会）	28日（土） 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 2	48
S-04	児童相談所における児童心理司の役割を考える ～子どもの虹情報研修センターの研究から～ 菅野 道英（そだちと臨床研究会）	28日（土） 13:30～ 14:20	オンライン 会議室 2	50
S-05	ソフトとハードから考えるこれからの一時保護所 川本 出（広島県東部こども家庭センター）	28日（土） 15:30～ 16:20	オンライン 会議室 2	52
S-06	児童相談所における人材育成の実際とこれから 信田 力哉（相模原市中央生活支援課）	28日（土） 9:00～ 9:50	オンライン 会議室 3	54
S-07	「それなら、私が！」保護者へ寄り添う支援に手を挙げる学校が次々誕生した。ー地域からの実践報告ー 矢後 芳明（神奈川県中央児童相談所）	28日（土） 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 3	56
S-08	家族応援会議を使った緊急安全計画の実装化に向けて（実践・研修を中心に） 小林 美和（江戸川区）	28日（土） 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 3	58
S-09	With コロナ時代における虐待対応現場でのデータ利活用の提案： データとAIを現場でどう活用するか？ 高岡 昂太（産業技術総合研究所 人工知能研究センター）	28日（土） 13:30～ 14:20	オンライン 会議室 3	60
S-10	児童相談所が三機関協同面接の中で果たすべき役割とその課題 鈴木 浩之（立正大学）	28日（土） 15:30～ 16:20	オンライン 会議室 3	62
S-11	産前・産後における母と子への予防的支援の展開 ー母子生活支援施設の実践に焦点化したの検討ー 中島 尚美（大阪市立大学大学院生活科学研究科）	28日（土） 9:00～ 9:50	オンライン 会議室 4	64
S-12	日本におけるケアリーバー調査（措置解除後実態把握調査）の具現化 ー先行調査自治体からの示唆 永野 咲（武蔵野大学人間科学部）	28日（土） 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 4	66
S-13	社会的養護の当事者が考える当事者参画ー 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）があぶりだしたもの 相澤 仁（大分大学 福祉健康科学部）	28日（土） 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 4	68
S-14	「児童養護施設と児童相談所の連携の新たなあり方考える」 ー施設内「性的問題」の対応を巡ってー 小木曾 宏（東京経営短期大学こども教育学科）	28日（土） 13:30～ 14:20	オンライン 会議室 4	70
S-15	乳児院が取り組む産前産後母子支援事業 酒井 ひろ子（関西医科大学看護学部）	28日（土） 15:30～ 16:20	オンライン 会議室 4	72
S-16	子育てとアディクション ～何が必要？何が出来る？アディクションのある親とその子どものケア～ 森田 展彰（筑波大学医学医療系）	28日（土） 9:00～ 9:50	オンライン 会議室 5	74

No.	タイトル・企画者	日時	会場	抄録 ページ
S-17	子どもの権利保障のための体罰・虐待予防の効果的施策について 森 保道 (NPO 法人子どもすこやかサポートネット)	28日(土) 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 5	76
S-18	アタッチメントに基づく支援 ～関係機関・保護者・子どもそれぞれに対して～ 服部 隆志 (大阪府岸和田子ども家庭センター)	28日(土) 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 5	78
S-19	ペアレンティングプログラム手法を活用した妊婦・乳幼児の母への継続 的グループ支援の評価と課題 西村 真実子 (石川県立看護大学看護学部看護学科)	28日(土) 13:30～ 14:20	オンライン 会議室 5	80
S-20	18歳の壁を越えることの意味 -途切れない支援を保障するために 加藤 曜子 (流通科学大学)	28日(土) 15:30～ 16:20	オンライン 会議室 5	82
S-21	子どものセルフアドボカシーを支援する「デザイン国語」レッスン ～5つの「きく」力を育む「クエストリスニング」～ 伊藤 嘉余子 (大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類)	28日(土) 9:00～ 9:50	オンライン 会議室 6	84
S-22	病院拠点型性暴力被害ワンストップ支援センターが担う子どもと被害 親等や周辺へのソーシャルアプローチ 佐藤 浩子 (NPO 法人千葉性暴力被害支援センターちさと)	28日(土) 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 6	86
S-23	社会的養護における子どもと養育者の心の通い合い：難しさと糸口 麻生 典子 (神奈川大学人間科学部)	28日(土) 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 6	88
S-24	里親制度の理想と現実 -里親委託を伸展させるために必要なこと- 中嶋 一郎 (早稲田大学里親研究会)	28日(土) 13:30～ 14:20	オンライン 会議室 6	90
S-25	虐待防止・地域子育て支援としての里親ショートステイのしくみづくり について 松崎 佳子 (広島国際大学)	28日(土) 15:30～ 16:20	オンライン 会議室 6	92

No.	タイトル・企画者	日時	会場	抄録 ページ
S-26	法医学との連携による子ども虐待支援 佐藤 拓代（公益社団法人母子保健推進会議）	29日（日） 9:00～ 9:50	オンライン 会議室 2	94
S-27	家族間力動の「可視化」からDV・児童虐待への介入と支援・ケアを考えるー児童相談所のアプローチを中心にー 増井 香名子（新見公立大学）	29日（日） 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 2	96
S-28	家族と支援者が協働するために一家族を交えた会議を活かすファシリテーション 久保 樹里（花園大学社会福祉学部）	29日（日） 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 2	98
S-29	児童相談所におけるスーパーバイザーとしての育ちをボトムアップで考えるく児童福祉司 SV 編> 北谷 多樹子（堺市子ども相談所）	29日（日） 13:00～ 13:50	オンライン 会議室 2	100
S-30	児童虐待通告窓口の一元的運用と区分対応システム（Differential Response）の可能性とこれからの展望 畠山 由佳子（神戸女子短期大学幼児教育学科）	29日（日） 14:00～ 14:50	オンライン 会議室 2	102
S-31	アタッチメント理論で紡ぐ9年間の『性・生教育』 ～Trauma Informed education～ 小野 太恵子（大阪市立生野南小学校）	29日（日） 9:00～ 9:50	オンライン 会議室 3	104
S-32	チーム学校を形成するスクリーニングシステム（発見から支援まで） ～AIシステム構築の可能性～ 山野 則子（大阪府立大学人間社会システム科学研究科）	29日（日） 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 3	106
S-33	臨床と研究の融合ー脳科学的視点から子どもの発達を考える 水島 栄（獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター）	29日（日） 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 3	108
S-34	自粛生活による子ども・家族への影響 ～医療機関での現状と看護師が行う支援を考える～ 川口 めぐみ（大阪母子医療センター）	29日（日） 13:00～ 13:50	オンライン 会議室 3	110
S-35	地域子ども家庭支援の新たなかたち ～児童家庭支援センターによる市町村支援、里親支援の先駆的实践から～ 橋本 達昌（全国児童家庭支援センター協議会）	29日（日） 14:00～ 14:50	オンライン 会議室 3	112
S-36	協同面接のその先へ 根ヶ山 裕子（名古屋市西部児童相談所）	29日（日） 9:00～ 9:50	オンライン 会議室 4	114
S-37	多胎家庭の虐待未然防止について ～地域で多胎家庭を孤立させない取り組みについて考える～ 布施 晴美（十文字学園女子大学教育人文学部心理学科）	29日（日） 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 4	116
S-38	夫婦関係のズレから考える児童虐待予防 ーズレの修正プログラム・産前からの予防プログラムー 柴田 俊一（常葉大学健康プロデュース学部こども健康学科）	29日（日） 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 4	118
S-39	札幌児童死亡事例が遺したもの 鈴木 秀洋（日本大学危機管理学部）	29日（日） 13:00～ 13:50	オンライン 会議室 4	120
S-40	虐待予防としての居場所の働き 村上 靖彦（大阪大学人間科学研究科）	29日（日） 14:00～ 14:50	オンライン 会議室 4	122
S-42	市区町村子ども家庭相談実践事例に見られる取り組みのヒント 川松 亮（明星大学人文学部福祉実践学科）	29日（日） 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 5	124
S-43	虐待防止に関わる児童相談所業務の民間団体への委託 ～その可能性と課題～ 明橋 大二（NPO 法人子どもの権利支援センターぱれっと）	29日（日） 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 5	126

No.	タイトル・企画者	日時	会場	抄録 ページ
S-44	誰のニーズによる親子関係再構築（家族再統合）か再構築支援における 子ども・親・支援者のニーズを考える 宮口 智恵（特定非営利活動法人チャイルド・リソース・センター）	29日（日） 13:00～ 13:50	オンライン 会議室 5	128
S-45	新型コロナ禍の家庭内の3密への対応で虐待未然防止 地域の様々な取り組みの現状とこれから 松岡 典子（特定非営利活動法人 MC サポートセンターみっくみえ）	29日（日） 14:00～ 14:50	オンライン 会議室 5	130
S-46	被虐待乳幼児の精神病理に対する3軸評価法 CAT-P の開発：第1報 －開発目的、内容、準備的有用性－ 青木 豊（目白大学人間学部子ども学科）	29日（日） 9:00～ 9:50	オンライン 会議室 6	132
S-47	児童家庭福祉領域におけるスーパーバイズのあり方と育成について 増沢 高（子どもの虹情報研修センター） 藤林 武史（福岡市児童相談所）	29日（日） 10:00～ 10:50	オンライン 会議室 6	134
S-48	犬を用いた子どもの証言を支援する試み ～司法での付添犬活動の普及に向けて～ 丸山 洋子（名古屋市中央児童相談所）	29日（日） 11:00～ 11:50	オンライン 会議室 6	136
S-49	予期せぬ妊娠への母子保健と児童福祉からのアプローチ 赤尾 さく美（一般社団法人全国妊娠 SOS ネットワーク）	29日（日） 13:00～ 13:50	オンライン 会議室 6	138
S-50	社会的養育経験者へのアフターケア標準化に向けた実践と課題 安井 飛鳥（アフターケア事業全国ネットワークえんじゅ）	29日（日） 14:00～ 14:50	オンライン 会議室 6	140
S-51	社会的養護をボトムアップで組み立てることと理念 佐藤 桃子（島根大学人間科学部）	29日（日） 15:00～ 15:50	オンライン 会議室 6	142



## 一般演題 口頭発表

### 口頭発表1 児童相談所 民間団体 その他

● 11月28日(土) 14:30～15:20 オンライン会議室 2

座長：中垣 真通 (子どもの虹情報研修センター)

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
O-01	児童福祉専門職の情報通信技術 (ICT) 活用力実態調査 -子どもの権利を護るために- 梅野 潤子 (長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科)	146
O-02	児童虐待者の子ども時代の逆境的体験と、虐待状況や子どもの症状との関係 森田 展彰 (筑波大学医学医療系)	146
O-03	階層ベイズモデルを用いた全国市区町村・児童相談所の子ども虐待事例に関する重篤度認識の差の推定 菊池 愛美 (産業技術総合研究所 人工知能研究センター)	147
O-04	親子関係再構築支援プログラム参加による親自身の親子関係を意味づけるプロセスへの支援 酒井 佐枝子 (兵庫県こころのケアセンター)	147
O-05	評価者ごとのリスクアセスメントの評価のズレを考慮した統計モデリング 北條 大樹 (産業技術総合研究所 人工知能研究センター)	148
O-06	母子家庭に対する養育費確保と面会交流の現状と課題 田中 聡子 (県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科)	148

### 口頭発表2 医療 1

● 11月28日(土) 14:30～15:20 オンライン会議室 3

座長：小橋 孝介 (松戸市立総合医療センター)

酒詰 忍 (金沢医療センター)

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
O-07	脳梁膨大部病変を認めた Non-accidental head trauma 疑いの2乳児例 五十嵐 登 (富山県立中央病院小児科)	149
O-08	子どもの事故後の受診を契機に母親のDV被害が発覚した事例 - 3次救急病院における救命救急センターの役割 - 柿沢 有希子 (富山県立中央病院 看護部)	149
O-09	レセプトデータを用いた外傷を来す児童虐待事例に関する実態調査 岩尾 友秀 (京都大学)	150
O-10	当院救急外来における小児虐待症例または小児虐待が疑われた症例12例の検討 伊禮 奏子 (福井県立病院救命救急センター)	150
O-11	小児虐待の早期発見に向けて当院での小児救急医療トレーニングコースの活用について 勢理客 晶子 (福井県立病院救命救急センター)	151

### 口頭発表3 医療2 その他

● 11月28日(土) 14:30～15:20 オンライン会議室4

座長：藤林 武史 (福岡市子ども総合相談センター)  
轟 千栄子 (とどろき医院)

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
O-12	看護職に対する「子ども虐待防止をめざす支援者育成プログラム*」の効果 中田 史世 (市立砺波総合病院看護部)	152
O-13	性的虐待により妊娠し中絶した事例における、病院助産師の役割の検討 齊藤 貴子 (聖隷浜松病院)	152
O-14	全国の産科施設における社会的ハイリスク妊婦への支援体制に関する実態調査 大塚 公美子 (聖路加国際大学大学院看護学研究科)	153
O-15	周産期ハイリスク症例の実態把握とその支援 ～地域連携の具体的提案～ 間宮 規子 (東京都立小児総合医療センター)	153
O-16	社会的ハイリスク妊産婦の支援における熟練看護師の看護の特徴 ～妊娠期からの虐待予防を見据えて～ 和田 聡子 (大阪母子医療センター看護部)	154
O-17	妊娠期からの医療機関における社会的ハイリスク妊婦への支援に関する調査 ～地域との連携に焦点を当てて～ 幸崎 若菜 (医療法人社団向日葵会まつしま病院)	154

### 口頭発表4 母子保健 民間団体

● 11月28日(土) 14:30～15:20 オンライン会議室5

座長：吉田 みち代 (石川県助産師会)  
岡部 牧子 (石川県健康福祉部障害保健福祉課)

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
O-18	家族機能からみた0日・0か月死亡事例の未然防止策の検討ー17事例の分析からー 眞口 良美 (聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科)	155
O-19	妊娠中からの気になる母子支援連絡システム「岡山モデル」における連絡事例の検討 横溝 珠実 (吉備国際大学保健医療福祉学部看護学科)	155
O-20	妊婦への支援における保健師支援アプリの活用：コンテンツからみた使用状況 伊角 彩 (東京医科歯科大学国際健康推進医学分野)	156
O-21	妊婦への支援における保健師支援アプリの活用：保健センター別の使用状況 土井 理美 (東京医科歯科大学国際健康推進医学分野)	156
O-22	妊婦への支援における保健師支援アプリの効果検証 藤原 武男 (東京医科歯科大学国際健康推進医学分野)	157
O-23	子ども虐待の未然防止のための「テキストメッセージング」による介入研究 大島 由起雄 (特定非営利活動法人ぎずなメール・プロジェクト)	157

## 口頭発表5 市町村 その他

● 11月28日（土）14:30～15:20 オンライン会議室6

座長：八木 安理子（枚方市子どもの育ち見守りセンター）

藪井 芳恵（加賀市健康福祉部子育て支援課子育て応援ステーション）

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
O-24	家庭児童相談員は子ども虐待対応にかかる連携をどう捉えているか 寅屋 壽廣（大阪成蹊短期大学幼児教育学科）	158
O-25	児童相談所への緊急一時保護後の保育所職員への心理的ケア 菅野 貴子（福島市保健所健康推進課）	158
O-26	児童虐待防止における妊娠届け時面接の構造・機能の課題 - 場、途切れなさ、総合の観点から - 福永 英彦（平安女学院子ども教育学部）	159
O-27	市町村の人口規模に応じた保育現場との連携モデルの検討 - 3つの市町での取り組みから - 灰谷 和代（東北公益文科大学）	159
O-28	妊娠期からの継続した養育支援体制構築に向けた連携を機能させる社会福祉士の役割 中川 千恵美（大阪人間科学大学人間科学部社会福祉学科）	160
O-29	要保護児童対策地域協議会における見守りの質を高める連携の実際 ～見守り支援票の導入拡大に至るプロセス～ 杉本 一正（愛知県東三河児童・障害者相談センター）	160

## 口頭発表6 児童福祉施設1

● 11月29日(日) 15:00～15:50 オンライン会議室2

座長：橋本 達昌（児童家庭支援センター・児童養護施設一陽）  
佐道 寛（享誠塾）

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
O-30	全国調査データを用いた性的虐待の発生要件に関する多角的検討 ーベイズ統計モデリングによる特徴情報の抽出 古川 結唯（産業技術総合研究所 人工知能研究センター）	161
O-31	児童養護施設における生活経験が退所後の精神的健康に及ぼす影響：小児期逆境経験に着目して 中井 和弥（新潟こども医療専門学校）	162
O-32	児童養護施設等における児童間性暴力の実態に関する調査研究 原 弘輝（関西学院大学人間福祉学部）	162
O-33	児童生活臨床におけるトラウマ・インフォームド・ケアの成立 中里 晋三（東京大学大学院総合文化研究科）	163
O-34	児童自立支援施設のアフターケア事業に関する調査 ～教護院・児童自立支援施設を退所した子どもへの支援2～ 武 千晴（日本女子大学 人間社会学部 教育学科（学術研究員））	163
O-35	児童養護施設におけるグループスーパービジョン実施の試み 水木 理恵（福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター）	164

## 口頭発表7 児童福祉施設2 教育 障がい

● 11月29日(日) 15:00～15:50 オンライン会議室3

座長：増沢 高（子どもの虹情報研修センター）

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
O-36	大学生における乳幼児・高齢者接触体験と親性準備性との関連 キット 彩乃（長崎大学生命医科学域保健学系）	165
O-37	学業を継続できなかった若年妊娠の一例 平田 瑛子（大阪母子医療センター母性外来）	165
O-38	社会的養護にある子どもの生い立ちや家族に関する理解と思いを支える支援 ー医療型障害児入所施設職員の認識 大橋 麗子（学校法人越原学園名古屋女子大学健康科学部）	166
O-39	乳児院が展開する産前産後支援事業 ～大学連携協定事業～ 川崎 有紀（関西医科大学看護学部）	166
O-40	乳児院が取り組む妊娠期からの虐待予防 ～包括的アセスメントを基盤とした取り組み～ 上村 由紀（大阪府済生会大阪乳児院）	167
O-41	乳児院看護師の職務と役割について 飯村 愛（日本女子大学家政学研究科 児童学専攻 修士課程）	167

## 口頭発表8 子育て支援

● 11月29日(日) 15:00～15:50 オンライン会議室4

座長：和田 一郎 (花園大学)  
藤田 千恵 (一般社団法人 HAT)

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
O-42	子育て支援施設や商業施設への地理的近接は養育者の育児困難感に影響するか 越智 真奈美 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部)	168
O-43	「子育ての社会化」を実現する地域包括研修プログラムの開発 (1) －支援者・保護者・地域での実践課題－ 中島 美那子 (茨城キリスト教大学)	169
O-44	親子交流授業プログラムの子ども虐待予防支援策としての有用性 －参加協力する母親へのFGI面接から－ 成田 みぎわ (埼玉医科大学保健医療学部看護学科)	169
O-45	虐待を防ぐ家族支援を考える：発達障害児とその保護者支援の事例から 多田 淑央 (独立行政法人国立病院機構医王病院)	170
O-46	子どものQOLと生活習慣の関係 大西 良 (筑紫女学園大学人間科学部人間科学科)	170
O-47	子育て世代包括支援センターにおける子育て支援の実際 中村 美紗 (愛知県立大学大学院人間発達学研究科)	171

## 口頭発表9 里親・養子縁組 その他

● 11月29日(日) 15:00～15:50 オンライン会議室5

座長：津崎 哲郎 (認定NPO法人 児童虐待防止協会)  
二飯田 秀一 (ファミリーホーム「旬」、石川県里親会)

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
O-48	ファミリーホームの養育者が抱える困難 片山 寛信 (北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科)	172
O-49	産科医院の養子縁組実践からの気づきと展望 ～生母・養親・養子を癒すヒーリング・ペアレント・アプローチ～ 田中 泰雅 (医療法人社団諍友会田中病院)	172
O-50	虐待予防の効果的な一手段としての特別養子縁組 ～包括的養子縁組支援モデル構築構想の序に代えて～ 萬屋 育子 (認定NPO法人CAPNA)	173
O-51	里親と受託児の「かかわりあい」のアクチュアリティー意味づけされていない養育エピソードの語りを通して 井上 寿美 (大阪大谷大学教育学部教育学科)	173
O-52	代替養育を必要とする子どもに子ども家庭福祉が提供を目指す養育環境の研究 和仁 里香 (一般財団法人あかしこども財団西日本こども研修センターあかし)	174
O-53	カナダブリティッシュコロンビア州における子どもアドボカシーの機能 畑 千鶴乃 (鳥取大学地域学部)	174

## 一般演題 ポスター発表

### ポスター発表1 児童相談所1 司法

● 11月28日(土) 12:30～13:20 オンライン会議室2

座長：岩佐 和代 (大阪市こども相談センター)

No.	タイトル・演者	抄録ページ
P-01	児童相談所の児童福祉司が共に学び合うピアグループ活動 ～若手チームでもできるピアスーパービジョンの工夫 弦間 亮 (京都府家庭支援総合センター)	176
P-02	包括的文献調査に基づくアセスメントツールの構成と項目情報の収集に係る児童相談所および市区町村の特徴 坂本 次郎 (産業技術総合研究所人工知能研究センター)	177
P-03	児童相談所と市区町村の協働実態調査結果 協働5パターンの特徴から見える連携の課題と解決の方向性 橋本 笑穂 (産業技術総合研究所 人工知能研究センター)	178
P-04	一時保護所における内在的な問題を示す児童への関わり方 -職員が感じている関りの効果に着目して- 阪無 勇士 (昭和学院短期大学人間生活学科こども発達専攻)	179
P-05	大阪府下における親権停止等審判の実態分析 大畑 亮祐 (大阪弁護士会子どもの権利委員会)	179
P-06	子ども虐待相談における重症度と主な虐待者から考える家族の背景要因 荻野 勝己 (兵庫県姫路こども家庭センター)	180

### ポスター発表2 教育 その他

● 11月28日(土) 12:30～13:20 オンライン会議室3

座長：野田 正人 (立命館大学)

No.	タイトル・演者	抄録ページ
P-07	Child Vignettes 虐待リスク・スクリーニングテストの作成 (1) 高松 礼奈 (京都大学教育学研究科)	181
P-08	大学生における虐待行為に対する認識調査 桑原 千明 (文教大学教育学部発達教育課程)	181
P-09	大学生における児童虐待認知の正確性 福井 義一 (甲南大学文学部人間科学科)	182
P-10	高校家庭科における児童虐待予防教育についての一考察 -保育分野学習後の生徒への質問紙調査を基に- 田吹 和美 (大阪総合保育大学大学院 児童保育研究科 児童保育専攻)	182
P-11	子どもへの虐待予防教育の現状と課題 ～国内外の文献レビューから～ 関根 祥子 (国立武蔵野学院)	183



## ポスター発表3 医療

● 11月28日(土) 12:30～13:20 オンライン会議室4

座長：森 昭憲（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
P-12	性加害問題を抱える入院患児の対応に関する精神科病院スタッフのニーズ調査とスタッフトレーニングの効果 高岸 幸弘（熊本大学教育学部心理科）	184
P-13	身体的虐待が疑われた出血性疾患の児の所見 ～皮膚所見の特徴～ 内ヶ崎 西作（日本大学医学部社会医学系法医学分野）	184
P-14	子ども支援における保護者支援の意義 中本 富美（国立病院機構 医王病院）	185
P-15	当院における要支援妊産婦スクリーニング項目の検討 山田 律子（聖路加国際病院 産科新生児科病棟）	185
P-16	小児脳死下臓器提供を前提とした虐待否定の経験 山端 裕貴（八戸市立市民病院救命救急センター）	186
P-17	子ども虐待発生予防を目指した産科医療機関の看護職者に対する教育プログラムの実践報告2 唐田 順子（国立看護大学校看護学部）	186

## ポスター発表4 子育て支援 里親 市町村

● 11月28日(土) 12:30～13:20 オンライン会議室5

座長：和田 一郎（花園大学）

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
P-18	ヤングケアラー支援についてのA県の家庭児童相談員の意識調査 西山 直子（兵庫県立大学環境人間学研究所）	187
P-19	養親が医療機関を受診する際に経験した困りごと ～ソーシャルワーカーの語りから～ 池田 友美（摂南大学）	187
P-20	地域育児支援センターにおける利用者のニーズと課題 － 2018年度のスタッフ相談記録の分析から－ 佐藤 美奈子（帝京平成大学）	188
P-21	子育て支援関係機関連携における電話相談の役割 ～緊急性の高い電話相談をいかに対面型援助に繋ぐか 伊藤 真理子（新潟青陵大学福祉心理学部臨床心理学科）	188
P-22	切れ目のない子育て支援システム構築の検討 ～電話相談からみえる子育て支援ニーズ及びサービス把握 小池 由佳（新潟県立大学人間生活学部子ども学科）	189
P-23	母親の育児困難感と子どもの特徴・必要な育児支援 草間 真由美（子どもの虐待防止ネット・にいがた）	189



## ポスター発表5 児童福祉施設 児童相談所 2

● 11月29日(日) 12:00～12:50 オンライン会議室 2

座長：井上 景 (西日本こども研修センターあかし)

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
P-24	児童養護施設における保育士と担当児童の愛着形成の取り組み ～児童養護施設と児童相談所の協働～ 良原 果林 (富田林子ども家庭センター)	190
P-25	児童養護施設における施設職員と担当児童のアタッチメント形成の取り組み② ～施設と児童相談所の協働～ 福井 智子 (大阪府中央子ども家庭センター)	190
P-26	人生に長期的に悪影響をもたらす体験と非行との関連についての文献研究 ～公的機関による調査の可能性～ 笠松 聡子 (国立武蔵野学院)	191
P-27	児童福祉施設での性問題におけるリスクアセスメントとしての入所前の性被害・加害の経験について 大上 玲衣子 (兵庫県立清水が丘学園)	191
P-28	児童養護施設における学生ボランティア活動の質的向上のための臨床研究 井上 靖子 (兵庫県立大学環境人間学部)	192
P-29	児童養護施設におけるコロナウイルス感染症に関する心理教育の取り組み 飯尾 桜子 (人間環境大学)	192

## ポスター発表6 母子保健 子育て支援

● 11月29日(日) 12:00～12:50 オンライン会議室 3

座長：吉田 みち代 (石川県助産師会)

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
P-30	「支援者のための親子(母子)相互作用」講座受講後の助産師の認識 ～今後の支援に活用したい内容とは～ 澤田 優美 (札幌保健医療大学 保健医療学部 看護学科)	193
P-31	出産病院で実施される子育てサロンを通して孤立する母親を支える試み 関根 富美子 (越谷市立病院産科)	193
P-32	「にんしん SOS」相談から見えてきたこと 第6報～10年目を迎えこれまでの事業総括 植田 紀美子 (大阪母子医療センター母子保健調査室)	194
P-33	大阪府南部児童虐待防止医療ネットワーク事業 ～実績と課題～ 馬迫 れいか (大阪母子医療センター)	194

ポスター発表7 障がい 教育 その他

● 11月29日(日) 12:00～12:50 オンライン会議室 4

座長：大矢 寿美子(金沢工業大学心理科学研究所)

No.	タイトル・演者	抄録 ページ
P-34	被虐待、発達障害をかかえる高校生の進路選択の困難について ～被虐待高校生の実態～ 石垣 儀郎(名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科)	195
P-35	特別支援教育と児童虐待との関係に関する研究(3) －「特別支援教育と児童虐待との関係」に関する文献研究－ 石橋 裕子(帝京科学大学教育人間科学部学校教育学科)	195
P-36	愛着スタイルによるタッピングタッチの対人関係改善効果の違い －各愛着スタイルの典型例に着目して－ 大浦 真一(東海学院大学)	196
P-37	人との関わり方に課題のある児童に対する外来作業療法での認知ソーシャルトレーニングの実施について 生田 暢彦(みなとのこども診療所)	196

## 事業報告

一般社団法人子ども虐待防止学会 2019年10月～2020年9月 事業報告

- 役員の改選
- COVID-19 関連の要望書等
- 各委員会やワーキンググループ（WG）の主な活動
- 学術集会

## パネル展示

NO.	団体名
PN-01	特定非営利活動法人ピピオ子どもセンター
PN-02	全国児童家庭支援センター協議会
PN-03	西日本こども研修センターあかし
PN-04	SAP 子どもサポートセンター
PN-05	帝塚山大学アドベンチャーカウンセリング研究会
PN-06	(特) チャイルド・リソース・センター (CRC)
PN-07	認定 NPO 法人チャイルドファーストジャパン
PN-08	いちほの会
PN-09	特定非営利活動法人埼玉子どもを虐待から守る会
PN-10	一般社団法人日本子ども虐待医学会
PN-11	特定非営利活動法人親と子のタッチ研究会
PN-12	一般社団法人 J-CAPTA
PN-13	特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN
PN-14	CAP (子どもへの暴力防止) プログラム CAP いしかわ
PN-15	NPO 法人千葉性暴力被害支援センターちさと
PN-16	子どもの虹情報研修センター
PN-17	特定非営利活動法人子どもセンターてんぼ
PN-18	九州ぼうけん王
PN-19	RISTEX「安全な暮らしをつくる新しい公/私空間の構築」領域 「養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築」プロジェクト

**日本子ども虐待防止学会第26回学術集会いしかわ金沢大会  
プログラム・抄録集**

---

発行日：令和2年11月3日

発行者：日本子ども虐待防止学会第26回学術集会いしかわ金沢大会 実行委員会

大会長：沼田 直子

ホームページ：<https://www.jaspcan26.jp/>

抄録集編集：株式会社近畿日本ツーリスト中部